



動物レスキュー通信

2016年 1月 第32号 (平成28年1月1日発行)

発行元 一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長
愛玩動物飼養管理士 一級
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

ペットフードについて

種類などには意味がある



新年明けましておめでとございます。今年も「ツツ」と頑張っていきたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。皆さんはお正月、豪華なおせち料理や普段口にしないものを堪能されている方々も多いのではないかと思います。そこで今回は現代では主流となっているワンちゃん、ネコちゃんの食事であるペットフードについて書いていきます。私が子供の頃などは、食卓で残ったご飯やおかずなどを愛犬、愛猫に与えるという事は普通に行われていました。が、ペットフードになり私たちとワンちゃん、ネコちゃんを取り巻く環境も変わり、今や愛犬、愛猫には、ペットフードを与えるのが当たり前の時代になりました。メーカーさんも様々な研究を重ね、ワンちゃん、ネコちゃんが好きで食べるように工夫された商品がたくさんあります。ドライフード、ウェットフード、セミドライフードなどのタイプがあり、用途も間食用や主食である総合栄養食があり、その中でも年齢別に細かく分かれていたり、病気のの子のための療養食などがあります。

動物の種類にあったフードを

フードにはタイプや用途だけでなく、動物の種類によっても分類されています。ドッグフード、キャットフード、ラビットフード、ハムスターフードなど、様々なものが販売されています。ドライフードなんてどれも同じような見た目なんだから、どれを与えても同じだわなんて決しておぼろ

いでください。もちろん食べ物のからです。少し食べてしまったからと言って急におかしくなってしまうわけではないですが犬用には犬に、最適猫用には猫に、ウサギ用にはウサギに、ハムスター用にはハムスターに最適で必要な栄養素、と言う風にとっても考えて作られているのです。そして健康なワンちゃん、ネコちゃんなどに主に与えるフードは必ず総合栄養食と書かれてあるフードを選んで下さい。総合栄養食とはペットフード公正競争規約に「毎日の主要な食事として給与する事を目的とし、当該ペットフード及び水のみで指定された成長段階における健康を維持できるような栄養的にバランスのとれたもの」と書かれており、分析検査及び給与と検査により、規定されている事が裏付けられているものの中に「総合栄養食」と表示する事が許可されているからです。この総合栄養食の中にも分類されていて、ペットフード公正競争規約では総合栄養食に併記しなければいけない成長段階として「妊娠期/授乳期」「幼犬(猫期)/成長期または「グロース」「成犬(猫)期/維持期または「メンテナンス」の3つに分かれています。これら全てを満たしているものは「全成長段階またはオールステージ」と呼ばれていて、必ずいずれかが書かれています。これらはどんな違いがあるのかと言うと、人間と同じく、成長期のワンちゃんやネコちゃんは、大きくなるためにたくさん栄養が必要になりますので、高タンパク、高カロリーとなっており、反対に高齢のワンちゃん、ネコちゃんは、若い頃よりも必然的に運動量がすくなくなり

エネルギー消費量が減りますので、今までよりも低カロリーの食事にしなければ、どんどん太ってしまい、果ては病気になってしまふ事も考えられるからです。それぞれのワンちゃん、ネコちゃんに当てはまるフードを選んで食べさせてあげて下さい。病気のワンちゃんやネコちゃんには「療養食」を与えた方がよい場合があります。この療養食とはペットフード公正競争規約に「栄養成分の量や比率が調整され、特定の疾病又は健康状態にあるペットの栄養学的サポートを目的に、獣医療において獣医師の指導のもとで食事管理に使用される事を意図したものと」されています。必ず獣医師の診察、指導を受けてから与え始め、与えている間は定期的を受診、そして飼い主さんの勝手な判断で中止したりする事は避けなくてはなりません。そして「間食用」とはジャーキーやチーズ、ガム、ビスケットなどの事で、ペットフード公正競争規約には「おやつ、褒美、又はコミューケーションの手段として、時を選ばず給与する事を目的としたもの」とされていますが、おやつを与えすぎると栄養バランスが崩れ、栄養過多となってしまう危険性がありますので、それぞれのパッケージには与えてもよい量や回数などが表示されているはずですので、それをきちんと理解したうえで「つけや」「ほうびなど」として与えて下さい。その他にはサプリメントや栄養補助食品など、ペットフード公正競争規約では「その他の目的食」と分類されているものがあり、それらもパッケージに記載されている与える量などをきちんと守って与えてあげて下さい。

ワンちゃん、ネコちゃんの栄養状態を良好なものに保つ事によって病気がかかりにくく、飼い主さんとの幸せな生活が長く続く事が、殺処分現象への一歩につながると思っております。(詩月)